

フラワーセンター【5月の花】

2023年度 5月26日更新

※園内の植物の盗難が相次いでいます。
園内の植物は絶対にとらないでください。

いわき市フラワーセンターMAP

■案内板 ■温室 ■トイレ ■あずまや



- ・バーベナ リギダ ポラリス
- ・アークトチス グランディス
- ・サルビア ネモローサ カラドンナ
- ・サルビア ピンクブラッシュ
- ・アリウム パープルレイン
- ・ペンステモン ルビーレース
- ・アグロステンマ 桜貝他

- ～展示温室内の花木～
- ・多肉植物室
 - サボテン類、ハナキリン、キダチアロエ
 - ・熱帯果樹室
 - ・パパイア、フェイジョアの花
 - ・熱帯花木室
 - ハイビスカス、ブーゲンビリア
 - ・鉢物展示室
 - ゼラニウム、
 - デンドロビウム・シルシフロラム
 - ・熱帯樹林室
 - ストレリチア、コエビソウ、
 - ミッキーマウスの木、ホザキノトケイソウ
 - ・冷室
 - ミヤコワスレ

- ・ジキタリス
- ・サルビア ネモローサ
- ・エリグロン カルピンスキアヌス
- ・ロータス プリムストーン

①バラ (風力発電の東側バラ園)



バラ科 落葉低木 原産：北半球各地
“花の女王”として絶大な人気を誇るバラは、花の美しさ、香りの豊かさで、その名にふさわしい風格と気品があります。日本の自生種、イノバラやサンショウバラなどは、優秀な交配親として重要視されている種類です。

②ウケザキオオヤマレンゲ (バラ園南側)



モクレン科 小高木 原産：日本、朝鮮半島、中国
開花時期は5月から6月。
奥山に自生するオオヤマレンゲとホオノキの交配種で、オオヤマレンゲの花が下向きに咲くのに対して、ホオノキと同様に上を向いて開きますが、花の大きさはホオよりもやや小ぶりです。

③カルミア (展示温室とフラワーライフ館の間の通路)



ツツジ科 常緑低木 原産：北アメリカ東部
つぼみは金平糖のような、チョコレート菓子のアポロに似た形で花が開くと五角形の皿型になります。晩春につぼみが膨らみ開花期間は初夏から梅雨入りにかけて約1カ月ほどと長く、終わった花は散らずに茶色くなって残ります。


④ペゴニア (大花壇他)



シュウカイドウ科 多年草(一年草扱い) 原産：熱帯、亜熱帯地域
多年草中では多肉質な木質になる茎をもつ品種もあります。なかでも四季咲きペゴニアはペゴニア・センパフローレンスともいい、ブラジル原産のほぼ周年開花する品種を掛け合わせられた園芸品種群です。花色は白・ピンク・赤などがありハート形の花弁が愛らしく人気があります。

⑤ジキタリス


(正門花壇・展示温室南側花壇他)



ゴマノハグサ科 常緑多年草・二年草 原産：ヨーロッパ・アジア
長い花茎を伸ばし、筒状の花を下向きに穂状に密につけます。日本で多く栽培されているのはジキタリス・プルプレアの園芸種で、花色は紅紫、桃色、白などがあり、花筒の内側に暗紫色の不規則な斑点が入ります。寒さに強い二年草または短命な宿根草で、一般には種をまいて二年草として扱われます。

⑥リナリアプルプレア


(正門付近丸いモニュメント中央部)



ゴマノハクサ科 耐寒性宿根草 原産：ヨーロッパ
英国のワイルドフラワーの1種で、キンギョソウに似たかわいい花です。英国の田舎ならどこでも見られる花。自由な雰囲気のあるボーダー花壇の縁取りとして、あるいは石垣の間などから自然な感じで咲かせるととても似合います。丈夫で初夏～晩秋まで花を咲かせます。

⑦フレンチラベンダー


(イングリッシュガーデン)



シソ科 原産：地中海沿岸
主な開花期は春～初夏で、花茎を伸ばしてその先端に小さな花を穂状にたくさん付けます。花壇に植えて花を楽しむほか、花や茎、葉などに芳香がありハーブとしても扱われます。

⑧トウオガタマ

(展示温室とフラワーライフ館の間の通路)



モクレン科 常緑低木 原産：中国南部
花の直径は3cmくらいで花びらは厚くクリーム色、フチがほんのり紅紫色を帯びることもあります。花には完熟バナナをすっきりさせたような芳香があり、その甘い香りがこの木の特徴で大きな魅力です。香りには人それぞれ好みがあると思いますが、甘ったるさがさほどきつくない、嫌みのない香りです。